



今月のごあんない

■ブナの盆栽講座 2020

①「盆栽鉢づくり」

盆栽・陶芸
初めての方も
ぜひ！

1月からスタートした「盆栽鉢づくり」。2月、3月は以下の日程です。都合のいい日を選んで、好みの盆栽鉢を作りましょう。「ブナの苗の植え込み」と「盆栽の管理方法」は4月以降の講座で行います。

【日程】◆木曜コース 2月6日から3月5日までの
毎週木曜日(陶芸教室の時間帯)

13:30~15:30 または18:30~20:30

◆日曜コース 2月2日・3月1日

13:30~15:30

【参加費】粘土代(1kgにつき500円)

※作品の数、大きさによって変わります

【定員】各回6名

【申込み】希望日の前日までに
ブナセンターへ



■わくわく土曜日ランド

「CANCAN ストープ」

空き缶で簡易ストープを作ります。完成したら、お湯を沸かしてカップラーメンを作って食べましょう。

【日程】2月 8日(土)

【時間】10:00~15:00

【集合】ブナセンター(9:55)

または町民センター(9:45)

【定員】10名(町内小学生対象)

【持ち物】昼食、野外で活動できる服装

【参加費】300円

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

※詳しくは学校配布のチラシにて

■森へ行こう「~学芸員と行く~ 冬の添別ブナ林」

冬はなかなか行く機会のない添別ブナ林。今回は、2月14日より開催の企画展「北限のブナ林」(裏面にて紹介)にあわせて、添別ブナ林で見られる「北限のブナ林の特徴」を解説しながらの観察会です。

【日程】2月15日(土)

【講師】齋藤 均(ブナセンター学芸員)

【時間】9:00~13:00 ※座学のみ参加も可

【内容】9:00~10:00(座学)・・・北限のブナ林の特徴
10:00~13:00(野外)・・・添別ブナ林へ

【集合】ブナセンター(9:00)

または、町民センター(8:45)

【持ち物】座学:特になし

野外:野外で活動できる服装、着替え
飲み物、あればスノーシュー

【定員】座学:なし 野外:13名

【参加費】野外のみ300円(ブナさぼは無料)

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

※歩く時間は約2時間です

※かんじきの貸し出しもします

※荒天の場合は中止

工房からのお知らせ

陶芸教室

毎週木曜日 昼の部 13:30~15:30
夜の部 18:30~20:30

◆下澤陽子先生(札幌市 北海ありそ焼・愉楽窯)の教室

2月24日(月)祝日 13:30~15:30

「~基本を学ぼう~ たっぷりマグカップ」

月曜日
です！

◆木曜日の教室はブナセンタースタッフが作り方を指導します。

木工教室

毎週木曜日 18:30~20:30

西馬昇一郎先生(ニセコ町 WEST HORSE)の教室

2月13日・27日 18:30~20:30

※木工ろくろで作る「さくらのおさら」は、すでに申込みを
されている方が対象です。

同時に、各自作りたいものの指導も行っています。

2019年度 黒松内生物多様性保全奨励事業

ブナセンター賞の成果発表会

◆ブナセンター賞◆ 住友 和弘氏(東北医科薬科大学)

「健康づくりに効く黒松内の森の香り成分」

2月22日(土)

15:00~17:30 コミュニティ防災センターにて

★2018年度受賞者 山尾僚氏・大野美涼氏(弘前大学)
「黒松内のブナが感じる春~日の長さ」とブナの開葉の
しくみ」その後の研究成果発表

★2017年度受賞者 境 優氏(中央大学)

「朱太川の湧き水の秘密」その後の研究成果発表

★昨年12月に行なわれた白井川中学校の「総合学習
発表会」での発表の一部を展示する予定です

◎詳しくはチラシにて

ブナ北限の里・くろまつない町民なら知っておきたい基礎知識

ブナ検定に挑戦 その2

ブナや北限のブナにまつわる知識をあつめた「ブナ検定」の第2弾。
どのくらいブナのことを知っているのか、お試しあれ！

もんだい

① 47都道府県のうち、ブナが自生(※1)していないのは、つぎのうちどこ？(1つとは限りません)

- A 沖縄県 B 鹿児島県 C 大阪府
D 東京都 E 千葉県

もんだい

② 過去に、黒松内より北に、ブナが自生していたことがある。○か、×か？

もんだい

③ 今から約6000年前に函館に達したブナは、北進を続け、約1000年前に黒松内に到達しました。その時のブナの北進のスピードは、カタツムリより速い。○か、×か？

もんだい

④ 現在、黒松内より北にブナは自生している。○か、×か？

もんだい

⑤ ブナの北限は、今後、現在よりさらに北に進む。○か、×か？

もんだい

⑥ 西予市(※2)の人たちが黒松内のブナの葉を見て、びっくりしました。なぜでしょう？

- A 葉脈が多くてびっくり
B 葉のふちがギザギザでびっくり
C 大きくてびっくり

もんだい

⑦ 歌オブナ林で最も太いブナだった通称「ご神木」。2015年の台風で倒れてしまい、その「年輪標本」がブナセンターに展示してあります。さて、この「ご神木」が芽生えたのは何時代でしょう？

- A 室町時代 B 江戸時代
C 明治時代

もんだい

⑧ これまでにブナセンターが確認した「黒松内のブナBIG4」は以下の通りですが、この中で最も太い「添別のブナ」の胸高直径(※3)はどれくらい？

- ・添別のブナ A 100cm
・角十のブナ B 150cm
・丸山のブナ C 200cm
・歌オブナ林南側のブナ

※1 生物がある地域に人類の保護を受けずに自力で繁殖し生活しつづけていること。

※2 四国の愛媛県西予市と黒松内町は、ブナが取り持つ縁で姉妹町提携を結んでおり、交流があります。

※3 樹木の直径は、地面から130cmの高さ(大人の胸の高さ)で測ります。

答えやヒントは、下記の企画展「北限のブナ林」の解説パネルや、ブナホールの展示のなかにあります。企画展入口に用紙がありますので解答を記入して、ブナセンター受付までお持ちください。

▶挑戦していただいた方には…



すてきな景品があたるガチャ
ができます！

(先着50%さま 2/14~3/22)

大人も
子ども
も楽しめる！

ブナセンター企画展「北限のブナ林」

日程：2月14日(金)より

場所：ブナセンター1階・ブナホール

「なぜ北限のブナ林は貴重なのか？」「如何にしてブナ林は黒松内へ至ったのか？」などの基本的な疑問にQ&A形式で答えるなど、「北限のブナ林」についてわかりやすく解説します。また、企画展と関連した観覧会「～学芸員と行く～ 冬の添別ブナ林」も開催！

【2月の休館日】

3・4日 / 10日 / 17・18日 / 25日

(ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です)

●「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。

●「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の84円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440

メール bunacent@host.or.jp HP <http://www.host.or.jp/user/bunacent/> fb <https://facebook.com/bunacent.kuromatsunai/>